



心をひとつに 共に進もう 復興あさひ 旭市に住む喜びを

旭市議会議長 林 一 哉

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。皆さまには、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと思います。

昨年中は、市民の皆さまのご理解とご協力により、各議員が自己の良識と信念に基づき議会活動に精励し、市政の発展に全力を尽くすことができましたことに、心から感謝申し上げます。

昨年3月11日に発生しました東日本大震災は、日本の歴史上類を見ない被害をもたらしました。本市においても、震度5強の地震および数回にわたる大津波により、多大な被害がありました。

ここに被災された皆さま方に心からお見舞いを申し上げますとともに、犠牲になられた方々とご遺族に対し、衷心より哀悼の意を表します。

私ども市議会は、今回の大震災からの復興に当たり「旭市復

興計画」を柱とした復旧・復興活動への支援を積極的に行うとともに、国、県、市が一丸となり、復興に向けて取り組んでいくよう努めてまいります。

さて、昨今欧州の金融危機の影響により、世界経済は依然混沌としており、先行きの不透明感が払拭できない情勢にあります。わが国においても景気回復のための諸対策が講じられているところではありますが、なかなかその成果を見ることができません。

皆さま方もご承知のとおり、国家財政が非常に厳しい中、平成24年度予算が組まれるわけですが、現政権下においては、国債発行に依存した予算編成であることから、将来に対する不安を拭い去ることができません。

こうした国の予算編成の下、本市でも、長引く景気の低迷や一層深刻化する少子高齢化など、

さまざまな課題に直面しております。

このような中で、合併7年目を迎える本市では、限られた財源を有効に活用し、優先すべき課題の解決に向け、積極的に各種施策に取り組んできております。

本年3月末には、旭中央病院アクセス道の県道銚子旭線から国道126号線までが開通します。これにより、交通渋滞の緩和や中央病院への通院時間が短縮されます。

さらに、(仮称)旭市第二学校給食センターが本年9月から稼動し、海上・飯岡地域などの小中学校へ給食の提供を行います。また飯岡中学校校舎改築事業整備計画も進んでおり、今後より一層、教育施設の充実に努めてまいりたいと思っております。

私ども市議会といたしまして

は、新年を契機に心を新たにしまして、市民に開かれた議会を目指してまいります。また議会の機能を十分に果たし、市民の皆さまが旭市に住む喜びを感じていただけるよう、魅力あるまちづくりの実現を目指して、取り組んでまいります。

今後とも、皆さまのより一層のご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、皆さまにとって、幸多き一年になりますよう、心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

